

58年度第1回医学用原子分子・原子核データワーキング グループ会合議事録

1. 日時：昭和58年5月18日（水） 13:30~17:30
2. 場所：電子技術総合研究所 M-7会議室
3. 出席者：尾内能夫，龍福廣，喜多尾憲助，白形彰宏，平岡武，高田信久，中井洋太，沼宮内弼雄，オブザーバ：道川太一，松本健（電総研）
（欠席者：伊藤彬，岩波茂，高橋旦）

4. 配布資料

- 1) 第5回会合議事録（案）
- 2) 「中性子線の計測標準」（道川太一）（日本原子力学会誌Vol24.912'82）
- 3) 中性子フルーエンス標準と吸収線量との関係について（道川太一）
- 4) X線一次標準の設定（松本健）

5. 議事

1) 前回議事録の確認

第5回本W.G.の議事録が原案通り承認された。

2) 中性子一次標準の現状（電総研 道川太一氏）

配布資料2), 3)にもとづいて，マンガンバス法による中性子放出率の絶対測定，黒鉛パイル，Au箔による熱中性子フルーエンスの標準，陽子反跳型検出器，随伴 α 粒子法等による単色，速中性子フルーエンスの標準，フルーエンス標準と断面積および中性子標準に関する国際比較のこれまでの結果と今後の計画等について説明があり，質疑が行われた。

3) X線一次標準の設定（電総研 松本健氏）

配布資料4)にもとづき，照射線量標準の供給の範囲と現状，実効エネルギーと管電圧の比（線質指標）をパラメータにした場合のX線標準場の種々の特性，free air chamberによる照射線量の絶対測定，国際比較等による標準の維持，線量計校正における誤差要因，エネルギー依存性，方向依存性，線量率依存性等について説明があり，質疑が行われた。

4) 次回の予定検討

検討の結果、下記により開催することにした。

日 時 6月22日 13:30~17:00

場 所 原研東京本部

- 議 題
- 1) γ 線標準供給の現状 (電総研 加藤朗氏)
 - 2) 医療用線量標準の現状 (放医研 川島勝弘)
 - 3) その他

会合の後、電総研の放射線関連施設を見学した。